

国民健康保険

第2期保健事業

実施計画を策定しました

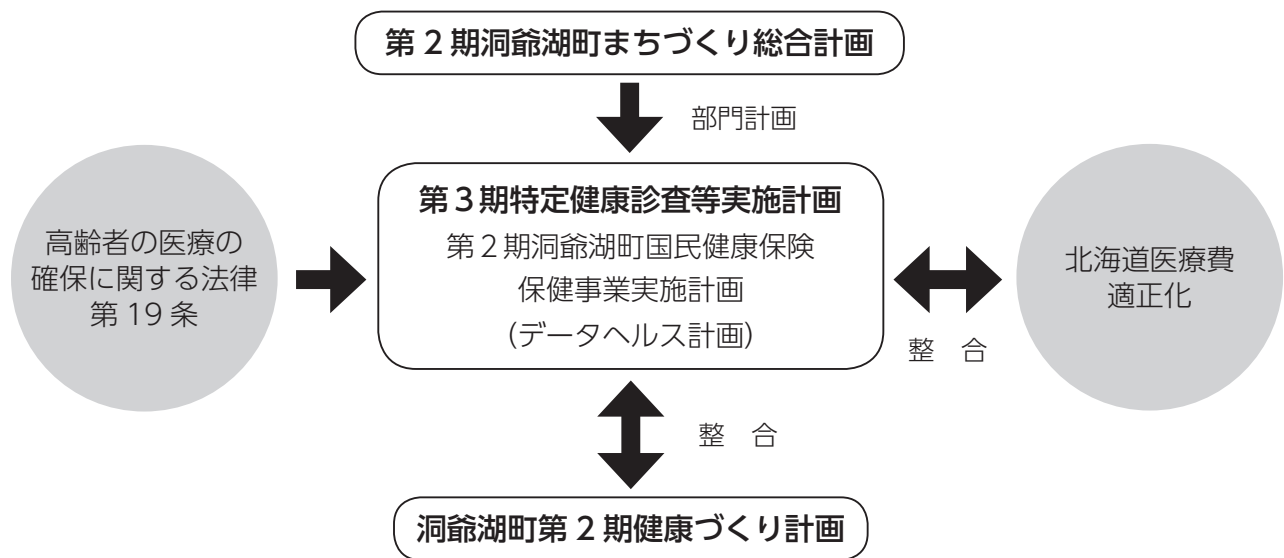
■問合せ 住民課国保医療グループ (☎ 74-3002)
健康福祉センター健康推進・地域包括グループ (☎ 76-4006)

高齢化の急速な進展に伴い、高血圧や糖尿病といった生活習慣病で病院にかかる割合が増加し、死亡原因の約6割を占める状況になっています。また、診療報酬明細書（レセプト）の電子化や国保データベース（KDB システム）の整備に伴い、医療費や健診などのデータ分析から町の健康課題の明確化や保健事業評価などを行う基盤整備が進んでいます。これらのデータを活用して町の健康課題の分析、保健事業の評価などを行い、効果的で効率的な保健事業を

PDCA サイクルで実施するための保健事業計画の策定が求められています。

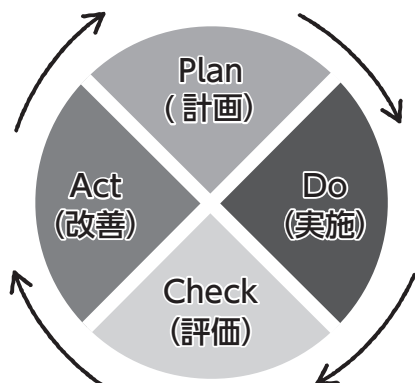
洞爺湖町でも計画を策定し、保健事業を展開してきました。前計画の計画期間満了を迎えたことから、前計画の実施状況を踏まえた「第2期保健事業実施計画」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

計画期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間です。



データヘルス計画

レセプト・健診情報などのデータの分析に基づく
効率的・効果的な保健事業をPDCAサイクルで実施するための事業計画



■ Plan (計画)

データ分析に基づく事業の立案
・健康課題、事業目的の明確化
・目標設定
・費用対効果を考慮した事業選択
(例)・加入者に対する全般的・個別的情報提供
・特定健診・特定保健指導
・重症化予防

■ Do (実施)

事業の実施

■ Check (評価)

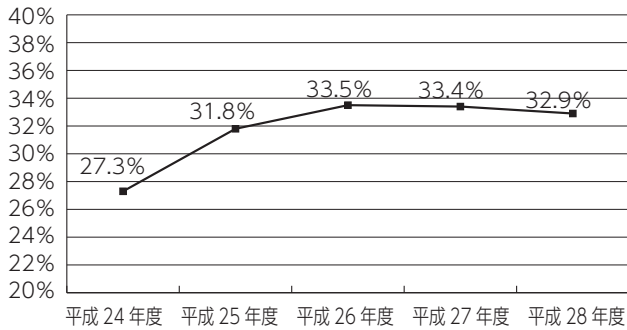
データ分析に基づく
効果測定・評価

■ Act (改善)

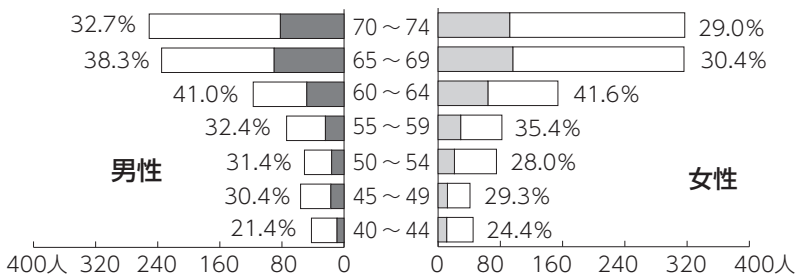
次サイクルに向けて修正

① 特定健康診査

■ 受診率の推移



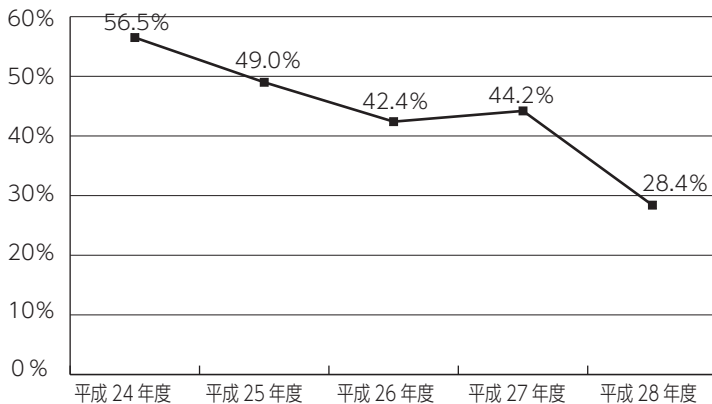
■ 性別・年齢階層別受診状況



出典：特定健診等データ管理システム「特定健診・特定保健指導実施結果報告」

② 特定保健指導

■ 実施率の推移



出典：特定健診等データ管理システム「特定健診・特定保健指導実施結果報告」

■ メタボリックシンドローム判定

	洞爺湖町	同規模	北海道	全国
メタボ基準に該当	18.8%	18.0%	16.6%	17.3%
男性	30.8%	27.1%	27.5%	27.5%
女性	8.3%	10.2%	8.8%	9.5%
メタボ予備群基準に該当	11.8%	11.5%	10.6%	10.7%
男性	18.9%	17.3%	17.9%	17.2%
女性	5.5%	6.5%	5.5%	5.8%

出典：特定健診等データ管理システム「特定健診・特定保健指導実施結果報告」、KDB システム「地域の全体像の把握」

課題

- ・ 受診率が 30 代から伸び悩んでいる。
- ・ 男女とも 40 代から 50 代の受診率が低い。

● 計画・目標

事業名	特定健康診査（継続）
概要	生活習慣病の原因ともなるメタボリックシンドローム予防に重点をおいた検査を行い、その早期発見により生活習慣病を予防します。

事業名	健康診査（継続）
概要	特定健康診査の対象外である年代の町民に対し、特定健康診査と同様の項目で健康診査を実施し、75 歳以上の住民に対しては機能低下に関する項目などを追加して実施します。

課題

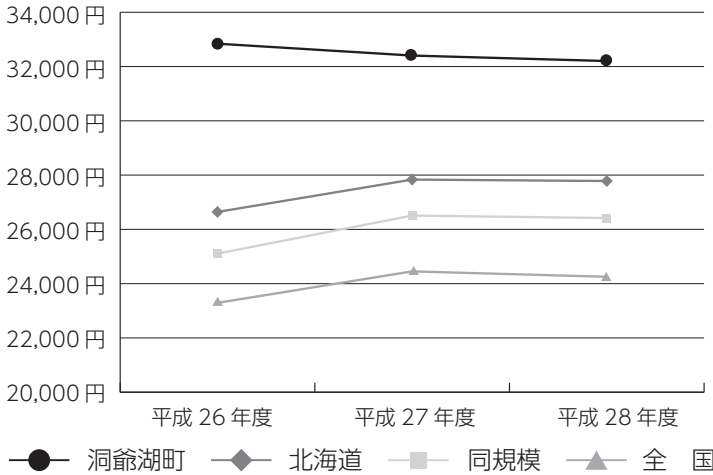
- ・ 実施率が低下している。
- ・ メタボ該当率、予備軍該当率ともに全国平均を上回っている。

● 計画・目標

事業名	特定保健指導（継続）
概要	健診結果から、メタボリックシンドロームのリスクなどを総合して生活習慣病の発症リスクが高いため、生活習慣の改善による予防効果が期待できる人などを対象に生活習慣を改善するための支援（保健指導）を行います。

③被保険者一人当たり医療費

■被保険者一人当たり医療費



	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
洞爺湖町	32,842 円	32,405 円	32,203 円
同規模	25,108 円	26,509 円	26,418 円
北海道	26,642 円	27,835 円	27,782 円
全国	23,292 円	24,452 円	24,253 円

出典：KDB システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

課題

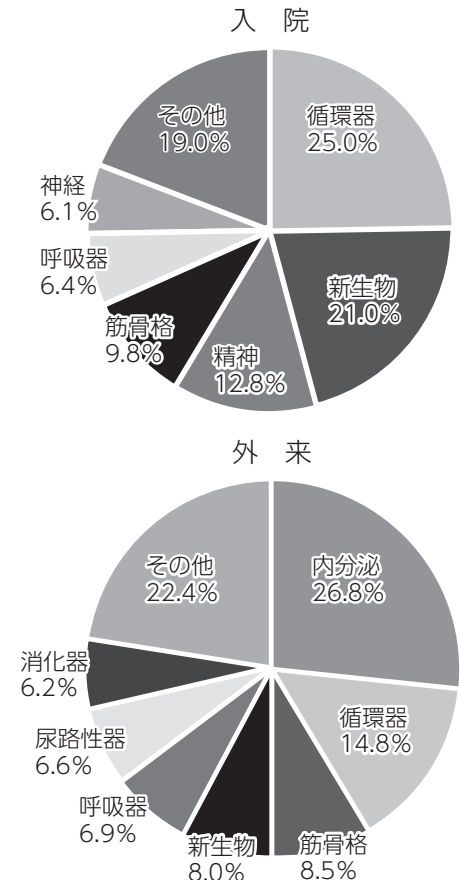
・被保険者一人当たりの医療費が全国平均を上回っている。

●計画・目標

事業名	医療費適正化推進対策事業（継続）
概要	医療費通知やジェネリック医薬品（後発医薬品）差額通知、レセプト点検などにより医療費の適正化を推進します。
目標	ジェネリック医薬品使用率の向上 平成 30 年度～平成 35 年度 ジェネリック医薬品使用率 80%以上 ※国の数値目標（数値シェア）は平成 32 年 9 月まで
取組み	・ジェネリック医薬品推奨の差額通知は平成 23 年度年 1 回、平成 24 年度より年 2 回対象者へ通知していて、切替率は頭打ちになりつつあります。今後も町内の薬局などと協力しながら更なる啓発・普及に努めます。 ※切替率：診療月で、1 種類以上ジェネリック医薬品が処方されている被保険者を該当者として集計した場合の率です。

④レセプト分析による疾病構造の把握（平成 28 年度）

■疾病大分類別医療費割合



順位	疾病名	割合	生活習慣病
1 位	糖尿病	6.6%	○
2 位	統合失調症	6.5%	
3 位	高血圧症	6.2%	○
4 位	脂質異常症	4.3%	○
5 位	脳梗塞	3.0%	○
6 位	関節疾患	2.9%	
7 位	肺がん	2.8%	
8 位	うつ病	2.5%	
9 位	大腸がん	2.4%	
10 位	不整脈	2.4%	○

出典：KDB システム「医療費分析（2）大、中、細小分類」

課題

・糖尿病や高血圧性疾患など生活習慣病が上位を占めている。

●計画・目標

事業名	生活習慣病対策保健指導（継続）⇒糖尿病性腎症重症化予防事業（新規）		
概要	重症化リスクの高い検診などの未受診者などに対する受診勧奨・保健指導を行い治療に繋げるとともに、通院患者に対して主治医の判断で対象者を選定し保健指導を行って人工透析などへの移行を予防します。		
目標	実施率の向上		
	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	－	5%	6%
	平成33年度	平成34年度	平成35年度
	7%	8%	13%
取組み	<ul style="list-style-type: none"> 北海道版のプログラムと、生活習慣病対策の保健指導の評価を基に、町独自のプログラムの作成を検討します。 対象者の主治医と連携した保健指導を実施することで、糖尿病などの生活習慣病の重症化を予防するとともに、新規に人工透析とならないよう予防します。 		

事業名	産後スクリーニング検査（継続）		
概要	妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病など、妊娠を期に発症する恐れのある生活習慣病を早期に発見するため、4か月検診を受診する母に対して血圧測定・尿検査を実施します。		
目標	実施率の維持向上		
	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	100%	100%	100%
	平成33年度	平成34年度	平成35年度
	100%	100%	100%
取組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から洞爺湖町独自で実施。 妊娠高血圧症候群を原因とした腎機能低下による人工透析患者がいたことから、若い世代の腎機能低下予防を人工透析予防策の一環として実施しています。継続的に実施することで、より若い世代からの生活習慣病対策に取り組みます。 		

⑤その他事業

事業名	健康増進・普及啓発事業（継続）
概要	町民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、活動するための知識や技術の普及啓発、参加型イベントの開催などを推進します

特定健診・各種がん検診のお知らせ

特定健診

■健診内容

- ・30歳以上～医師の診察、身体測定、腹囲測定、血圧測定、尿・血液検査、心電図・眼底検査
- ・70歳以上～医師の診察、身体測定、腹囲測定、血圧測定、尿・血液検査、心電図・眼底検査、問診、運動器検査（5メートル歩行、握力、片足立ち）

各種がん検診

■健診項目

胃がん検診、大腸がん検診、結核肺がん検診、エキノコックス検診、前立腺がん検診、肝炎ウィルス検診、ピロリ菌検査

日程・会場

地区	虻田地区	洞爺地区
日程	2月21日（木）	2月22日（金）
会場	健康福祉センター	洞爺ふれ愛センター
受付時間	①6:30～6:50 ②7:00～7:20 ③7:30～7:50 ④8:00～8:20 ⑤8:30～8:50 ⑥9:00～9:20 ⑦9:30～9:50	

※希望の受付時間にそえない場合があります。

問合せ

健康福祉センターさわやか ☎76-4006